

凡 例

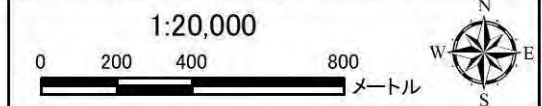
- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2022年度
- その他、
- 南1~3工区で
- 関連事業実施中。



▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 2022年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(6) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間98%値)(2022年度 環境保全措置実施後)

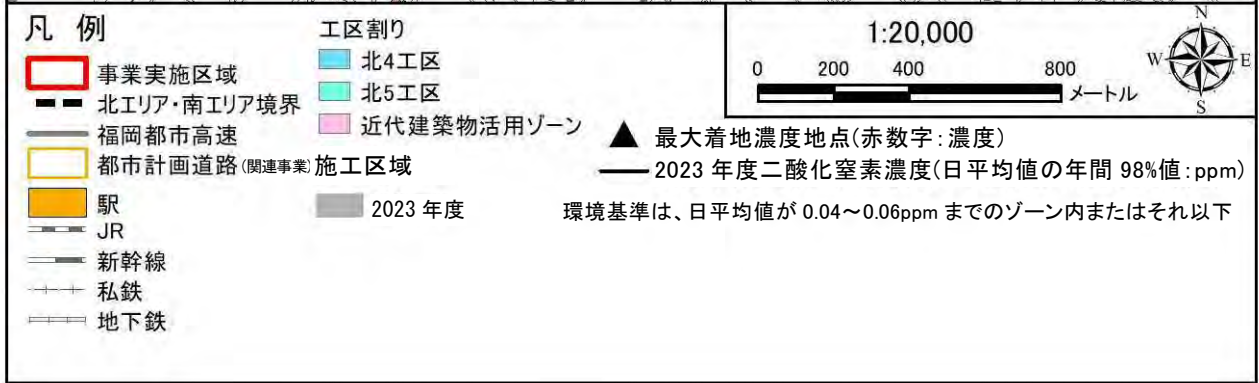
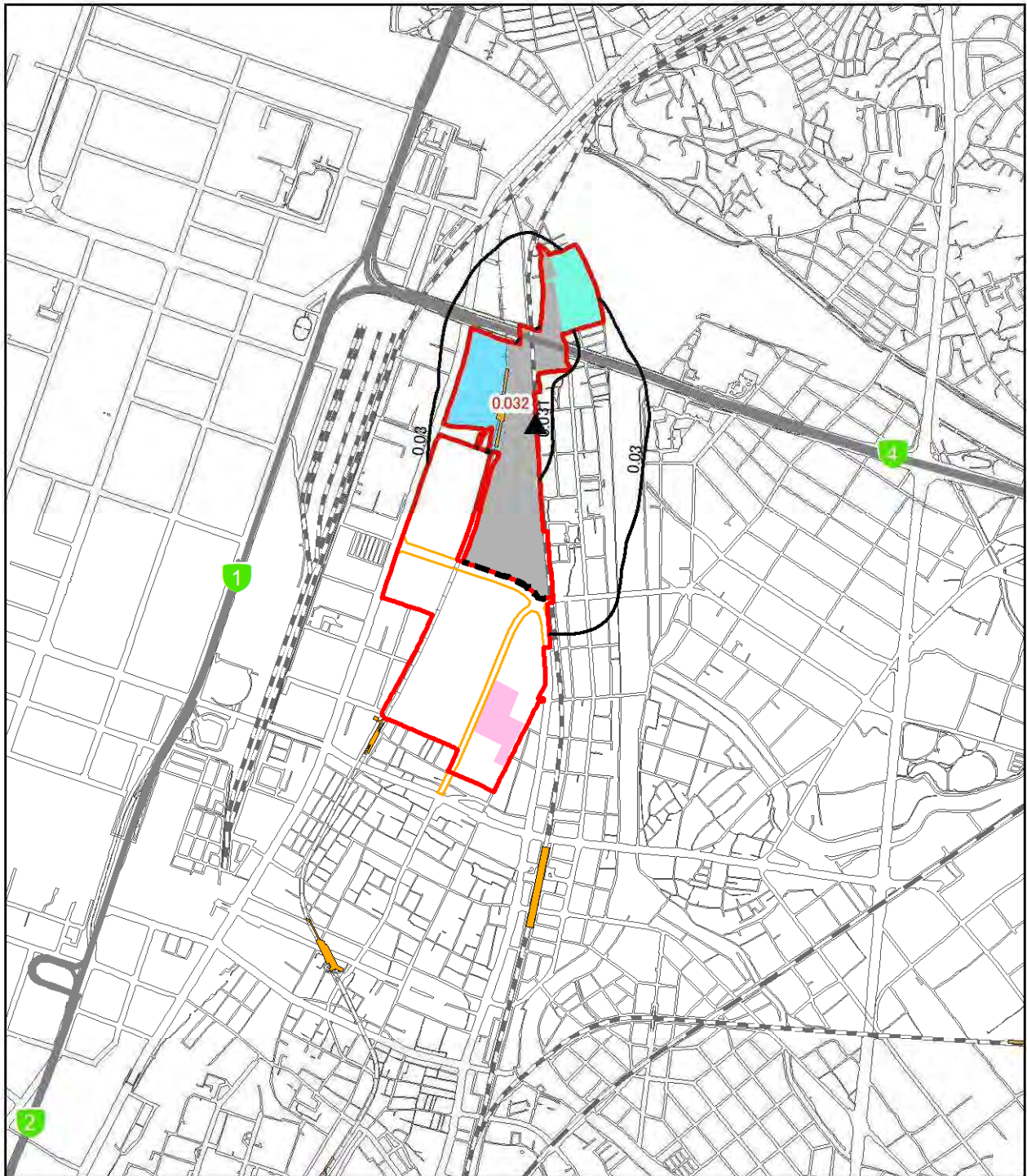


図 8.1-26(7) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
(日平均値の年間98%値)(2023年度 環境保全措置実施前)

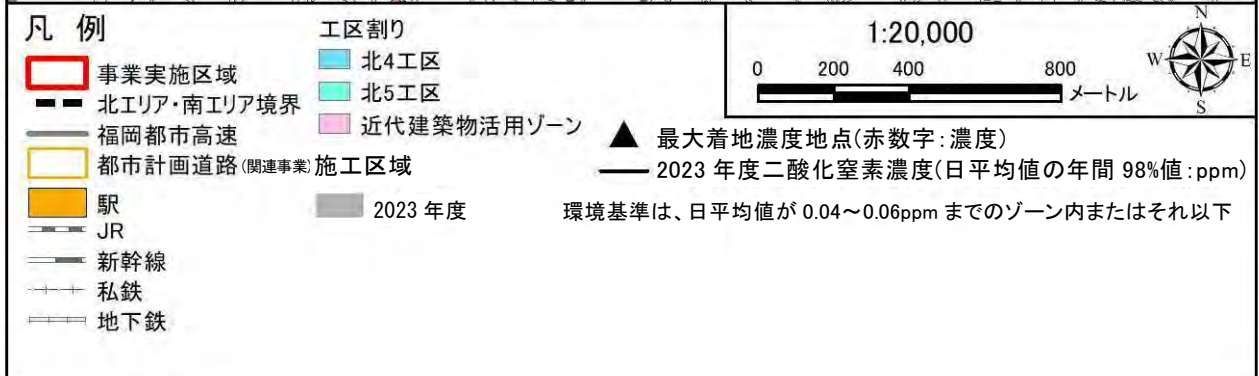
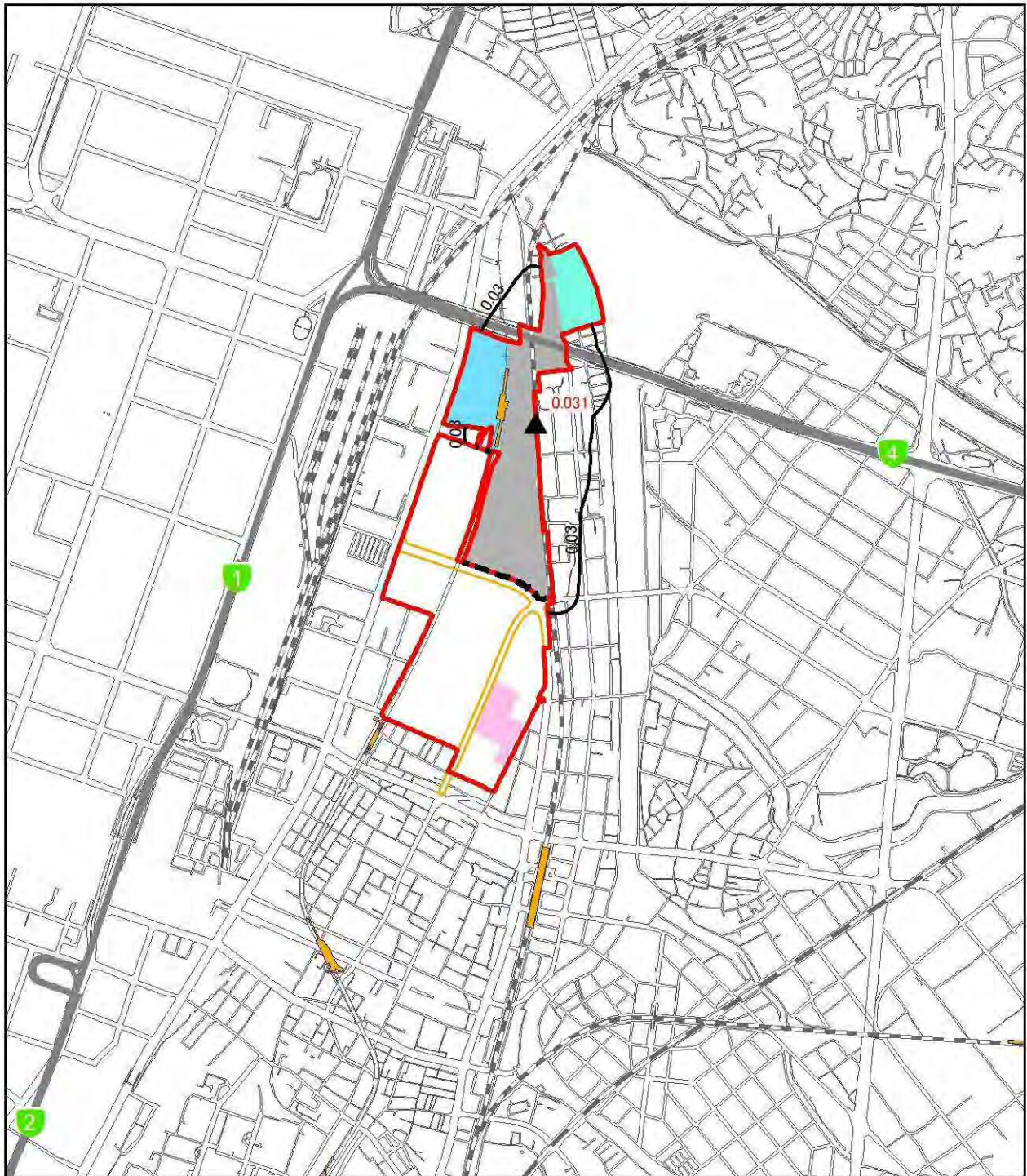
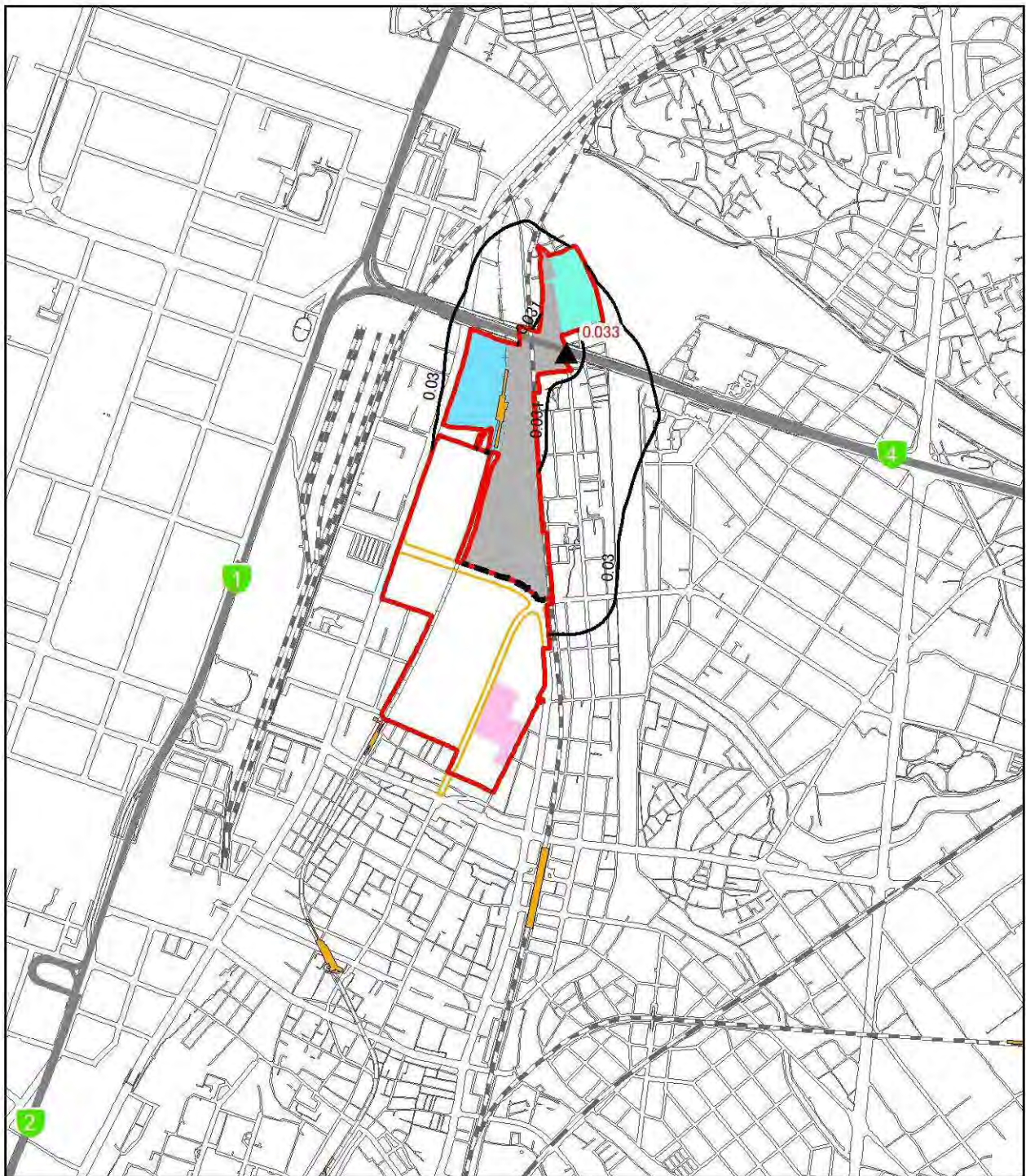
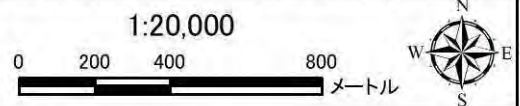


図 8.1-26(8) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
(日平均値の年間98%値)(2023年度 環境保全措置実施後)



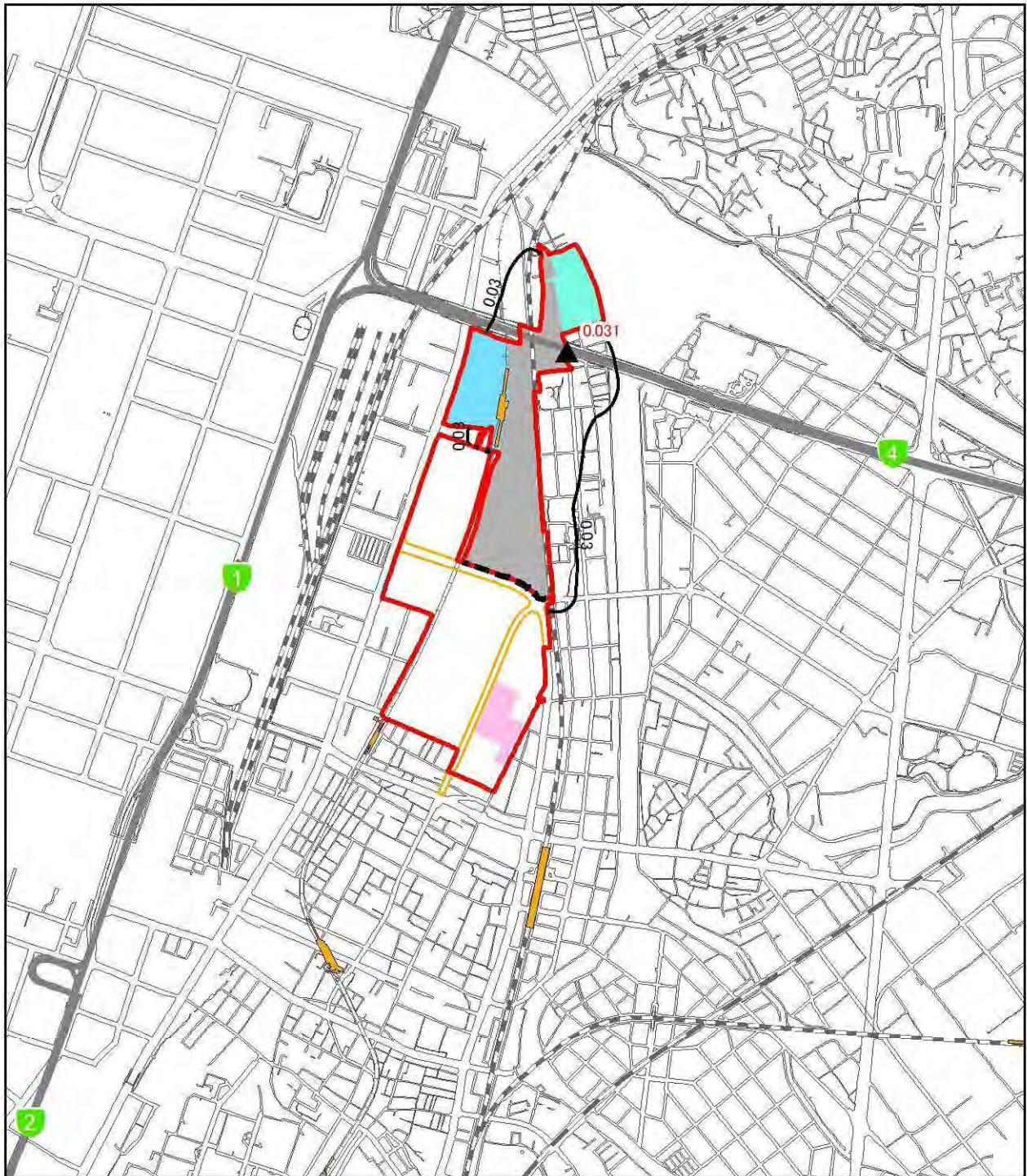
凡例

- | | |
|---|---|
| 事業実施区域 | 工区割り |
| 北エリア・南エリア境界 | 北4工区 |
| 福岡都市高速 | 北5工区 |
| 都市計画道路(関連事業) | 近代建築物活用ゾーン |
| 駅 | 施工区域 |
| JR | 2024年度 |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 2024年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(9) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間98%値)(2024年度 環境保全措置実施前)

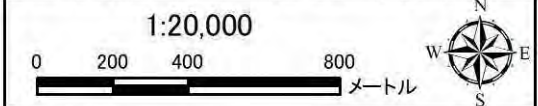


凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

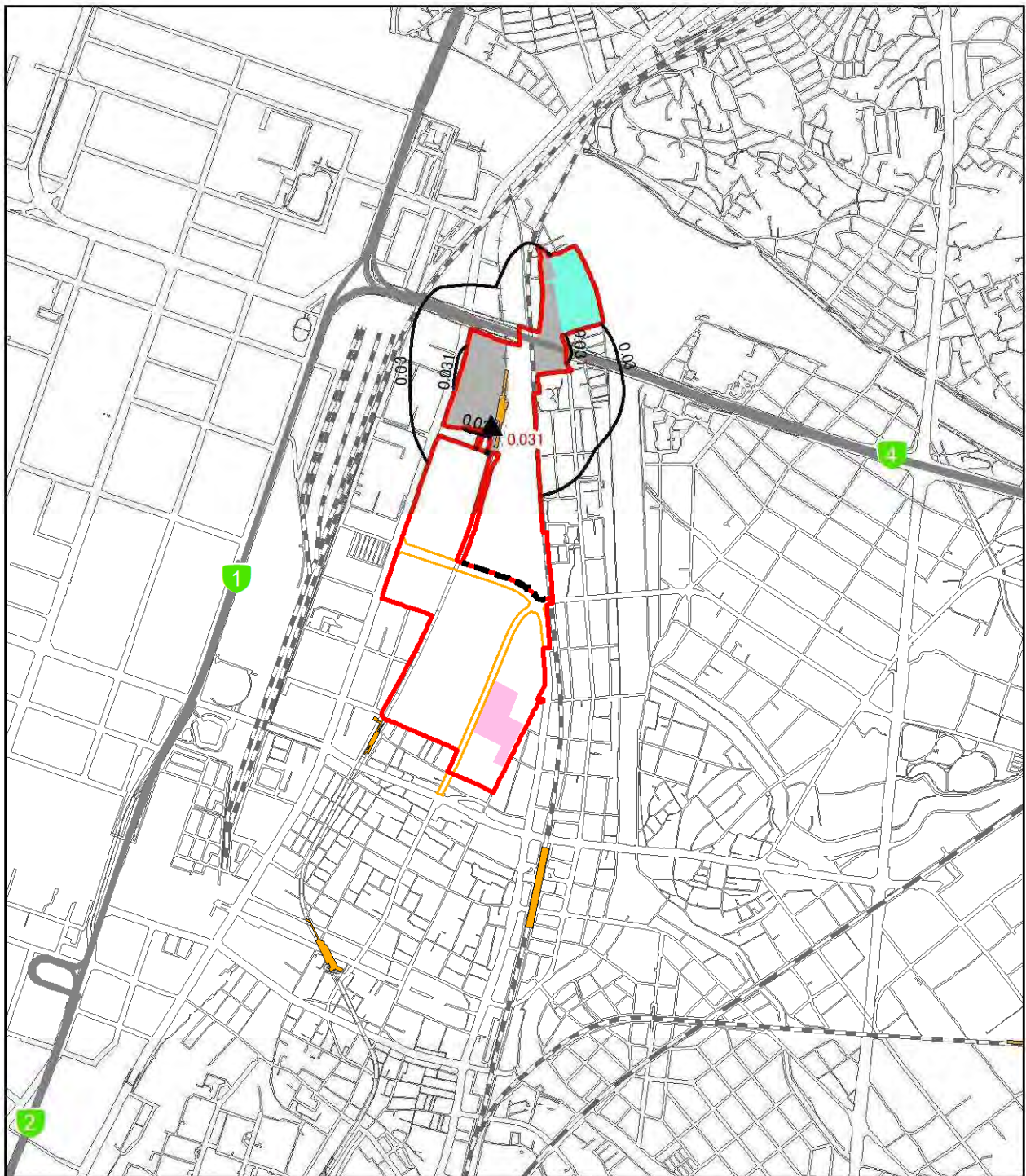
工区割り

- 北4工区
- 北5工区
- 近代建築物活用ゾーン
- 2024年度



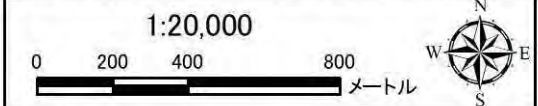
- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 - 2024年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)
- 環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(10) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
(日平均値の年間98%値)(2024年度 環境保全措置実施後)



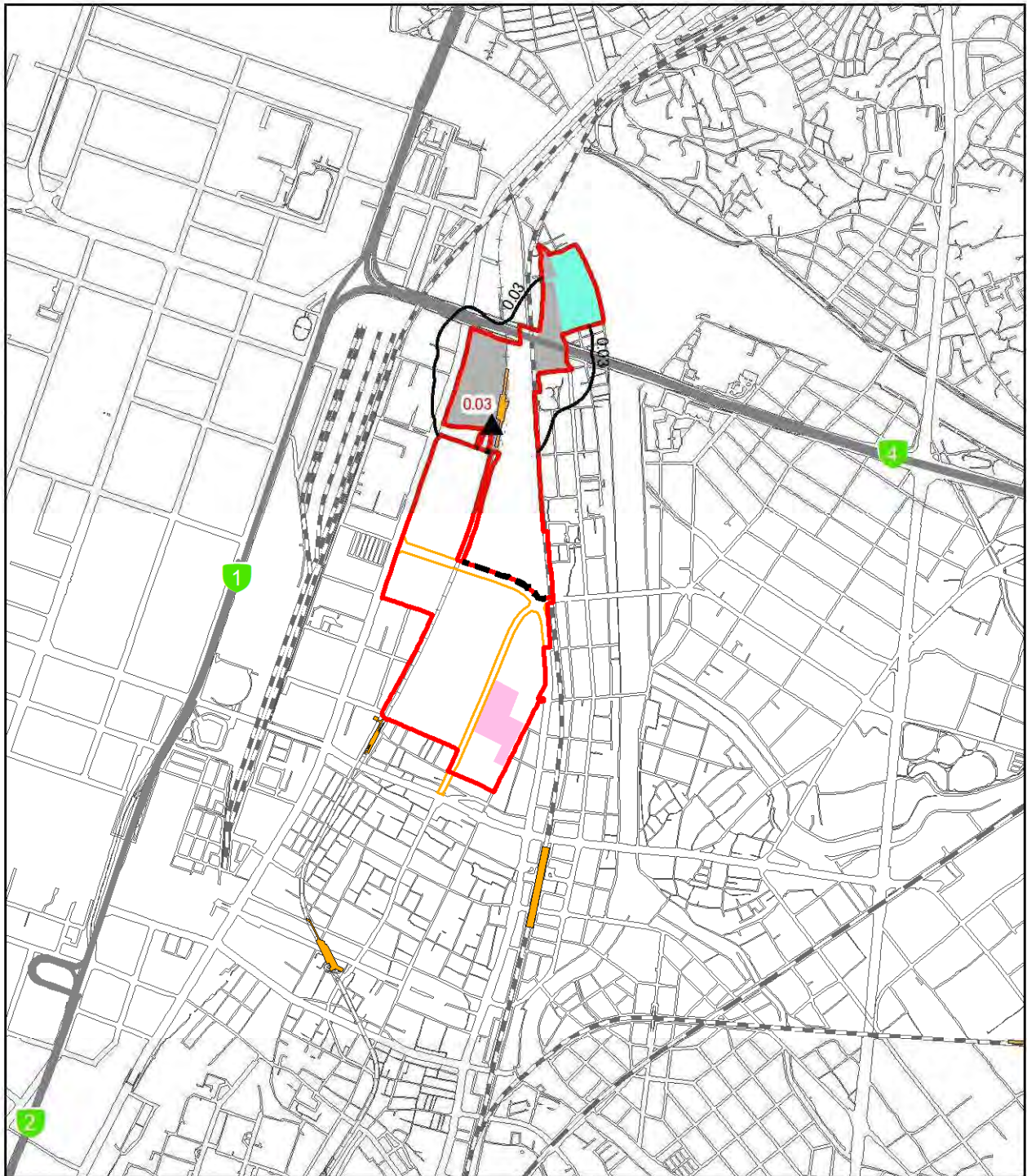
凡例

- | | |
|---|--|
| 事業実施区域 | 工区割り |
| 北エリア・南エリア境界 | 北5工区 |
| 福岡都市高速 | 近代建築物活用ゾーン |
| 都市計画道路(関連事業) | 施工区域 |
| 駅 | 2025年度 |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



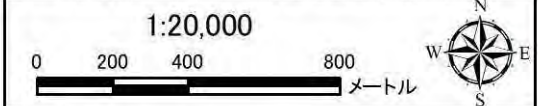
▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 2025年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(11) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間98%値)(2025年度 環境保全措置実施前)



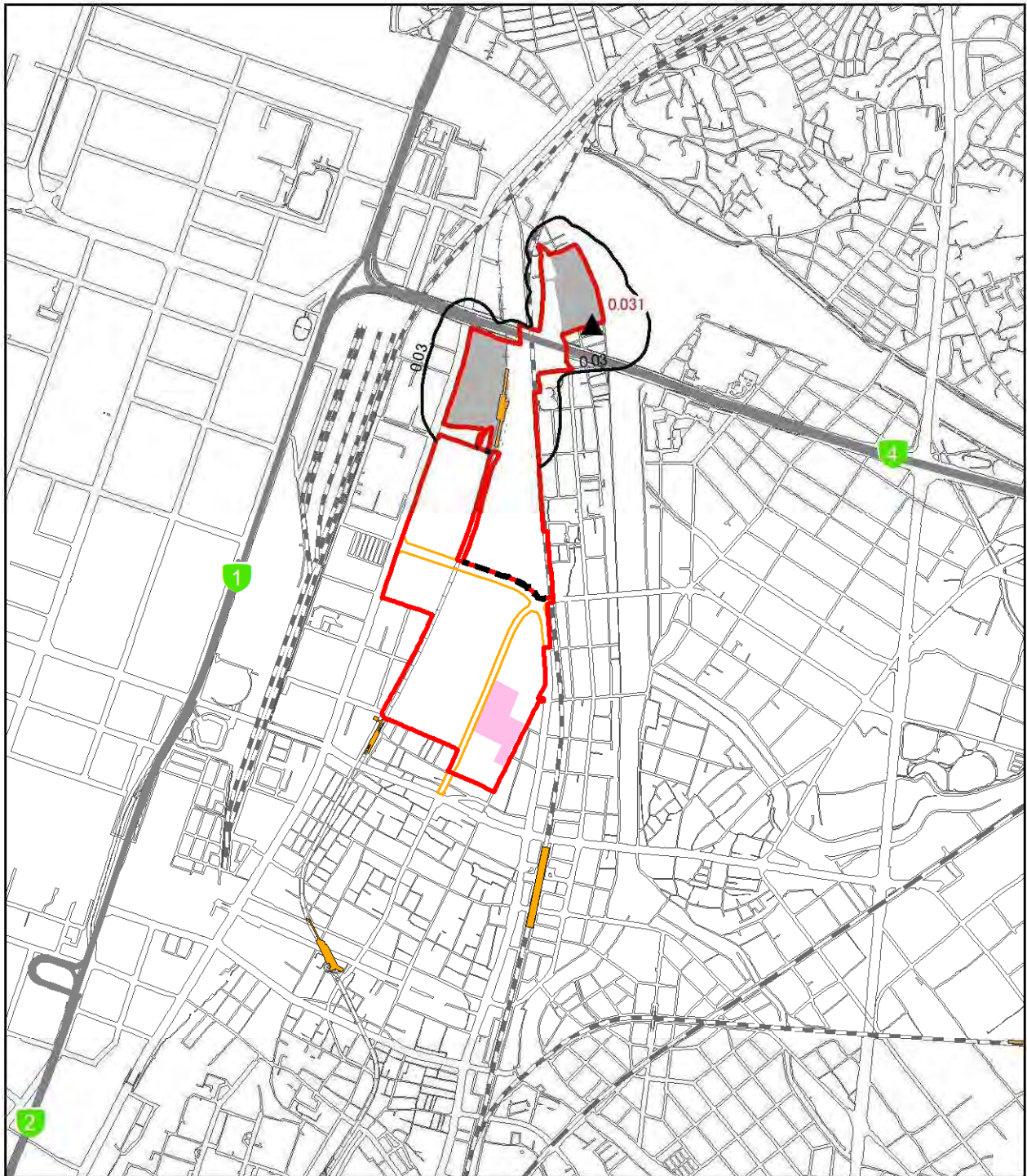
凡例

- | | |
|--|---|
| 事業実施区域 | 工区割り |
| 北エリア・南エリア境界 | 北5工区 |
| 福岡都市高速 | 近代建築物活用ゾーン |
| 都市計画道路(関連事業) | 施工区域 |
| 駅 | 2025年度 |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



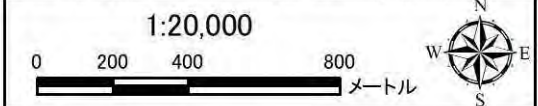
▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 2025年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(12) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間98%値)(2025年度 環境保全措置実施後)



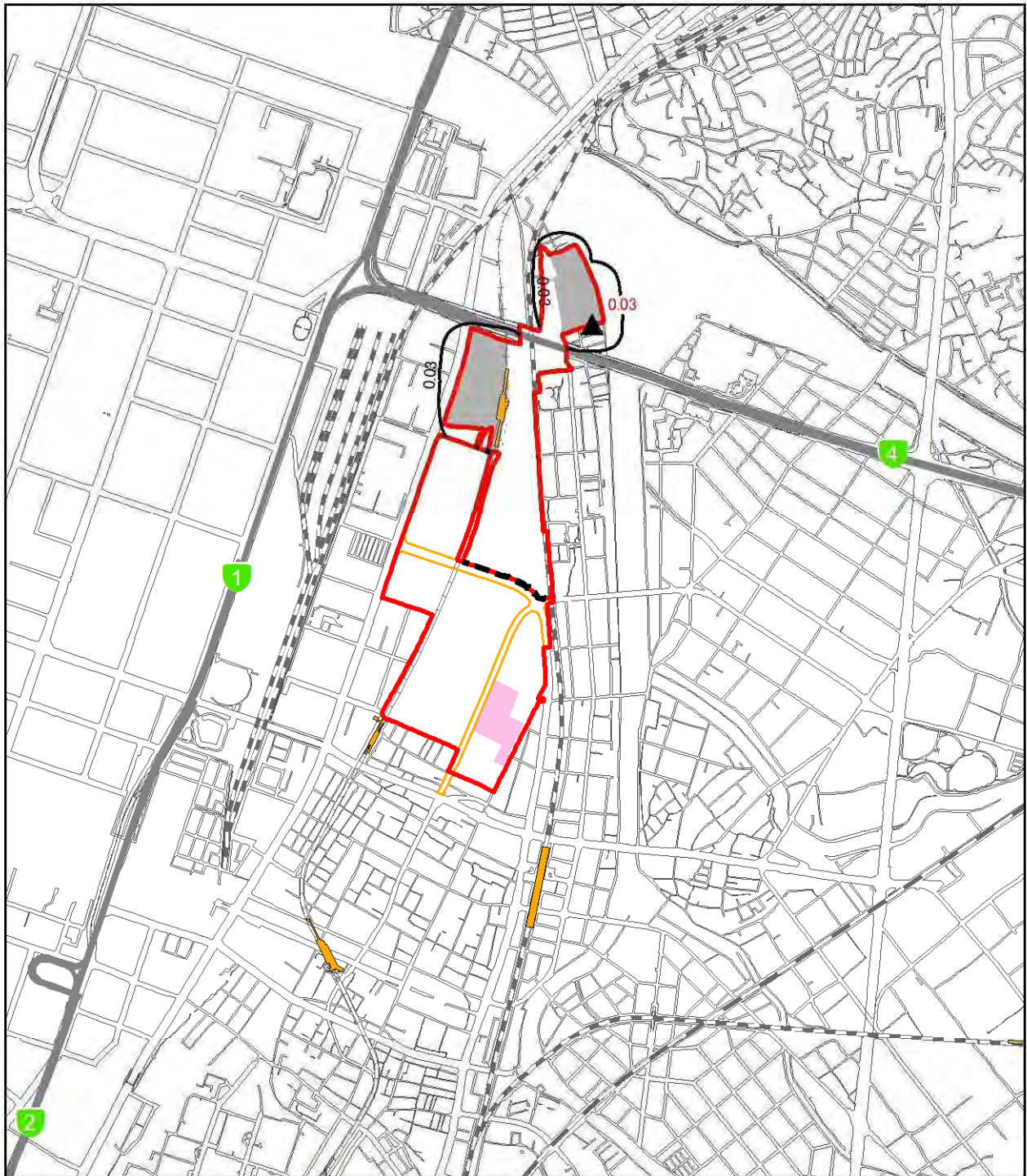
凡例

- | | |
|---|---|
| 事業実施区域 | 工区割り |
| 北エリア・南エリア境界 | 近代建築物活用ゾーン |
| 福岡都市高速 | 2026年度 |
| 都市計画道路(関連事業) | 施工区域 |
| 駅 | |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



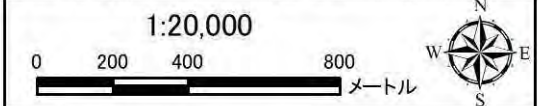
▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 2026年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(13) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間98%値)(2026年度 環境保全措置実施前)



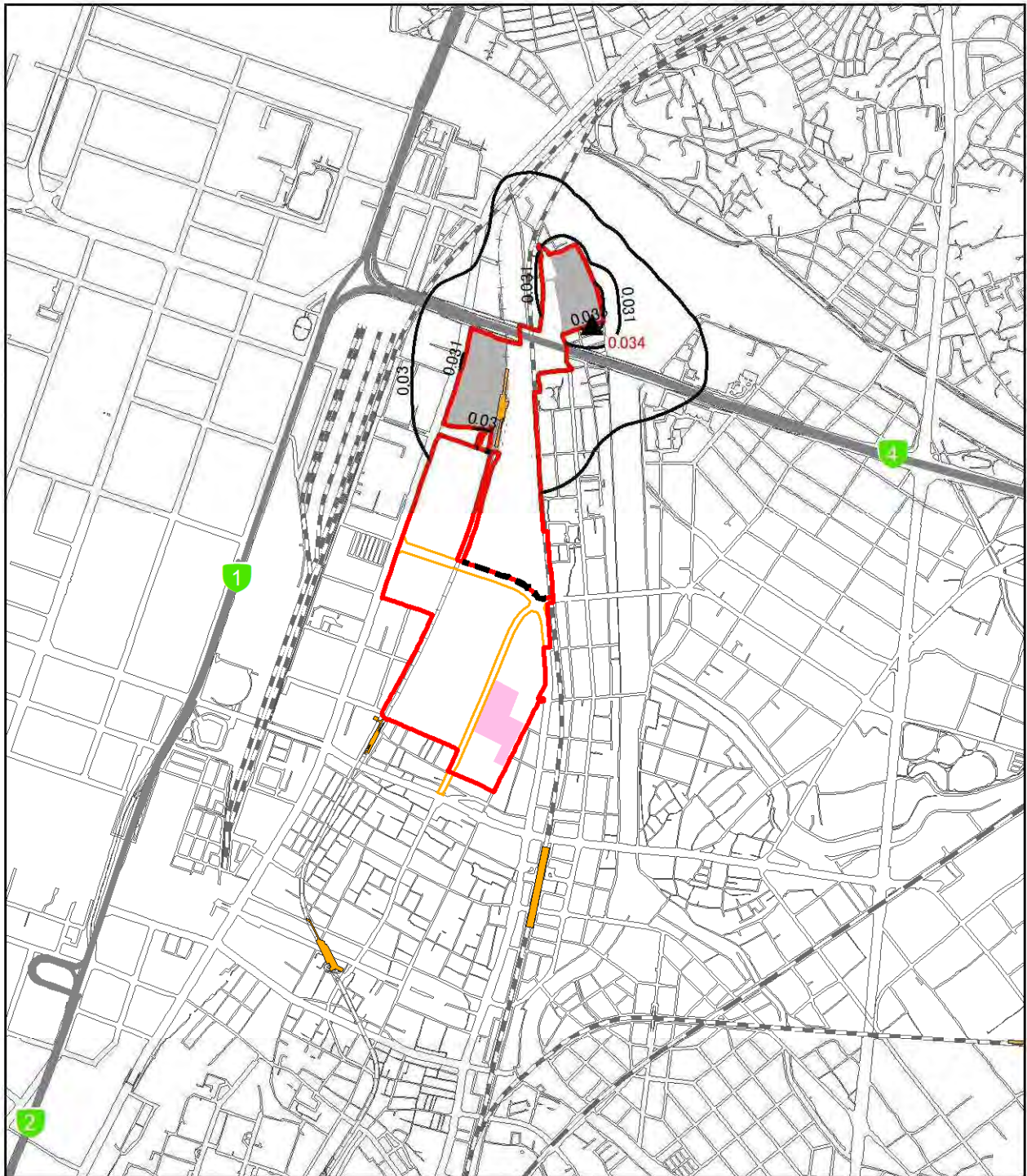
凡 例

- | | |
|---|--|
| 事業実施区域 | 工区割り |
| 北エリア・南エリア境界 | 近代建築物活用ゾーン |
| 福岡都市高速 | 2026 年度 |
| 都市計画道路(関連事業) | 施工区域 |
| 駅 | |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



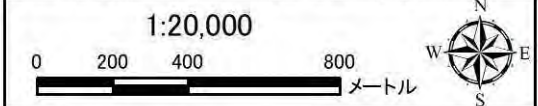
▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 2026 年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間 98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が 0.04~0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(14) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間 98%値)(2026 年度 環境保全措置実施後)



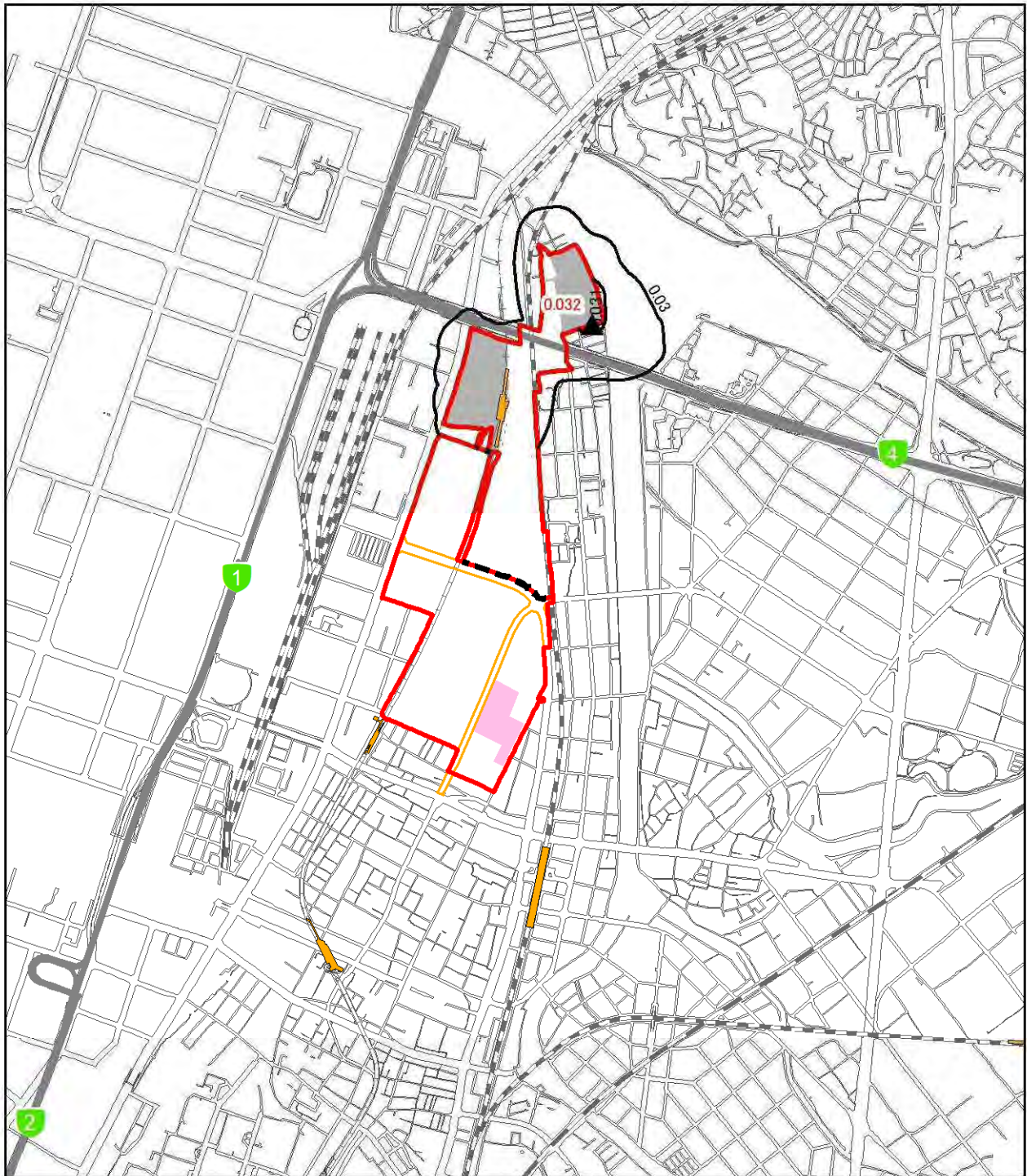
凡例

- | | |
|--------------|------------|
| 事業実施区域 | 近代建築物活用ゾーン |
| 北エリア・南エリア境界 | 施工区域 |
| 福岡都市高速 | 2027年度 |
| 都市計画道路(関連事業) | |
| 駅 | |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



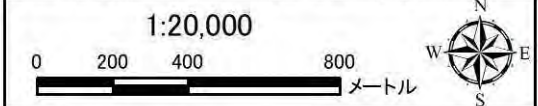
▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 2027年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(15) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間98%値)(2027年度 環境保全措置実施前)



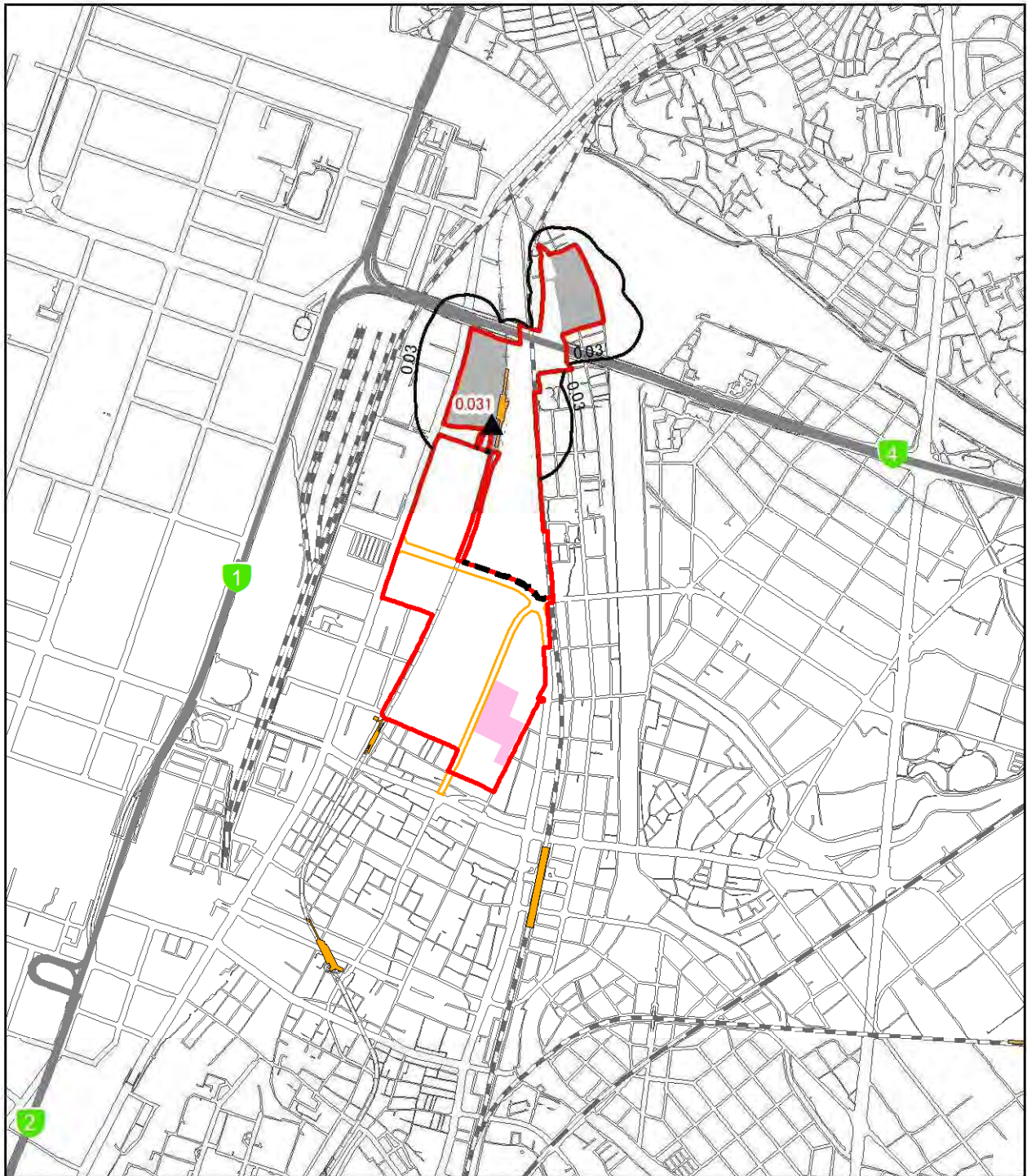
凡 例

- | | |
|--------------|------------|
| 事業実施区域 | 近代建築物活用ゾーン |
| 北エリア・南エリア境界 | 施工区域 |
| 福岡都市高速 | 2027 年度 |
| 都市計画道路(関連事業) | |
| 駅 | |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



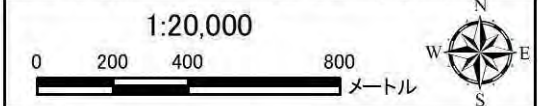
▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 2027 年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間 98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が 0.04~0.06ppm までのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(16) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間 98%値)(2027 年度 環境保全措置実施後)



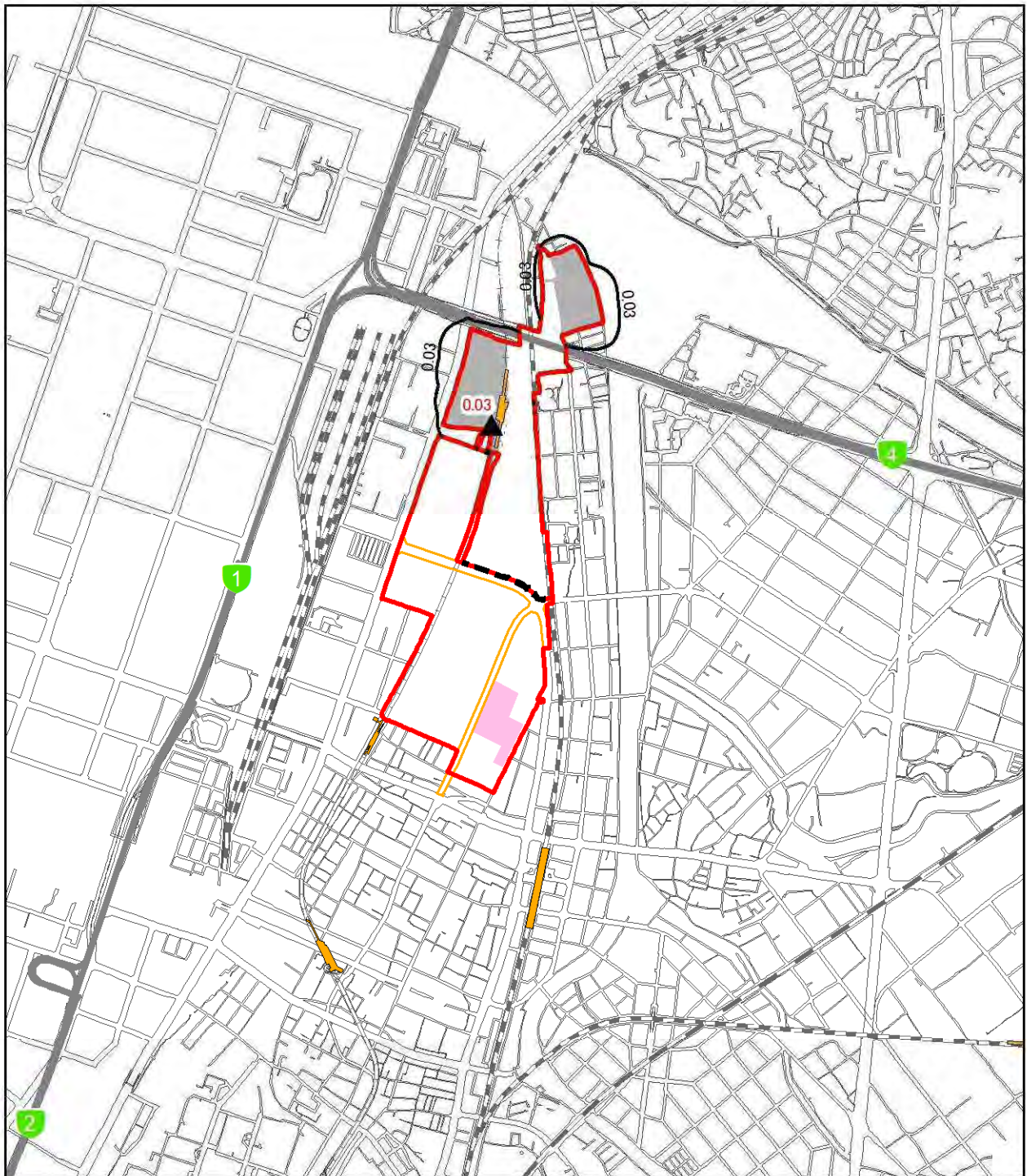
凡例

- | | |
|--------------|------------|
| 事業実施区域 | 近代建築物活用ゾーン |
| 北エリア・南エリア境界 | 施工区域 |
| 福岡都市高速 | 2028年度 |
| 都市計画道路(関連事業) | |
| 駅 | |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



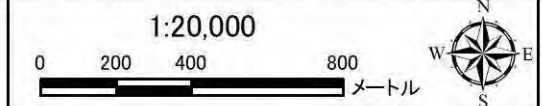
▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 2028年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(17) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間98%値)(2028年度 環境保全措置実施前)



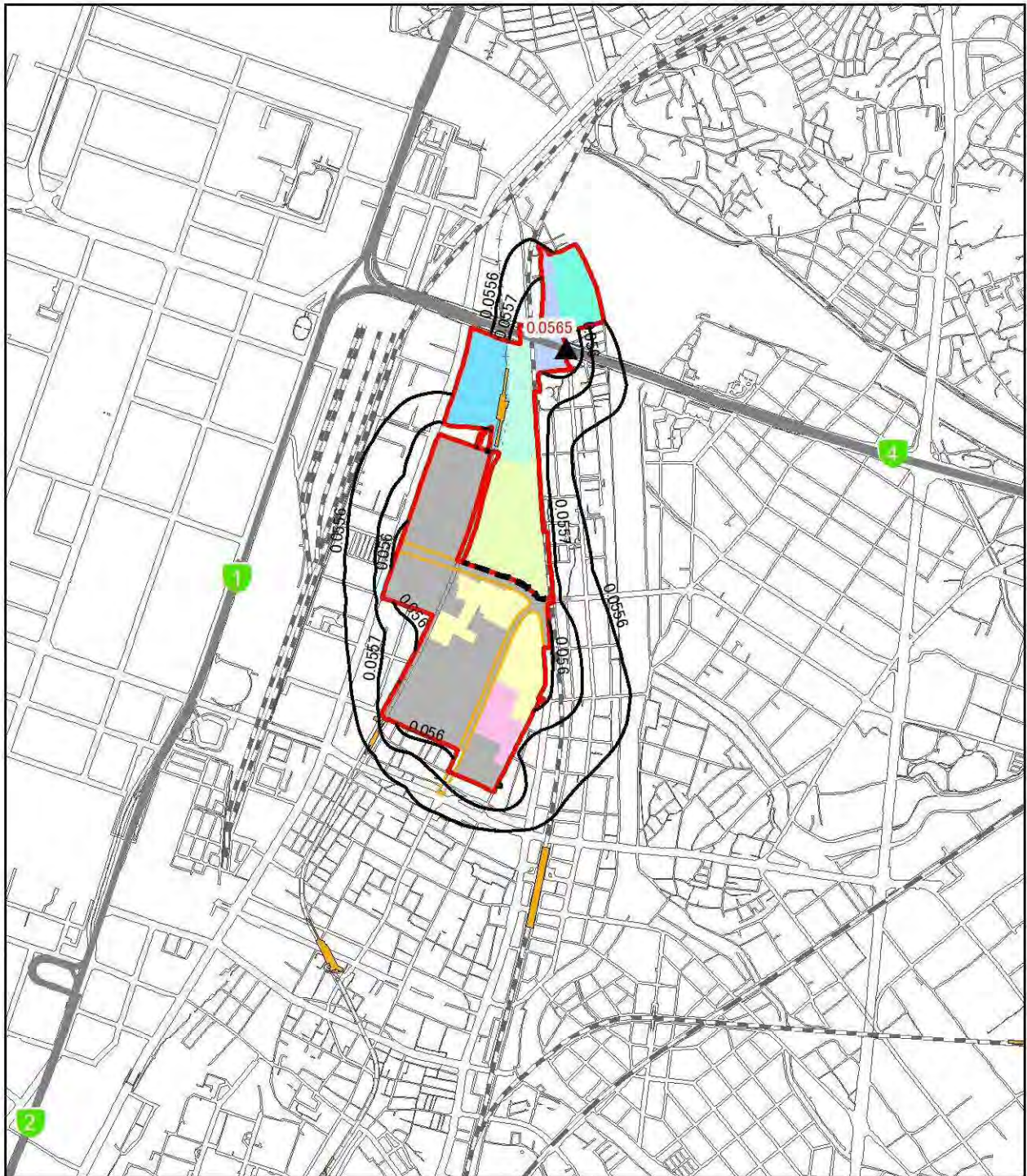
凡例

- | | |
|--------------|------------|
| 事業実施区域 | 近代建築物活用ゾーン |
| 北エリア・南エリア境界 | 施工区域 |
| 福岡都市高速 | 2028年度 |
| 都市計画道路(関連事業) | |
| 駅 | |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



▲ 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
 — 2028年度二酸化窒素濃度(日平均値の年間98%値:ppm)
 環境基準は、日平均値が0.04~0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下

図 8.1-26(18) 工事の実施(造成工事の実施)による二酸化窒素の予測結果
 (日平均値の年間98%値)(2028年度 環境保全措置実施後)

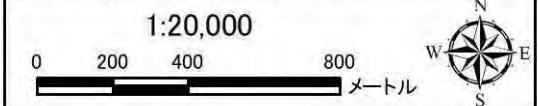


凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

- 工区割り
- 北1工区
 - 北2工区
 - 北3工区
 - 北4工区
 - 北5工区
 - 南3工区
 - 近代建築物活用ゾーン

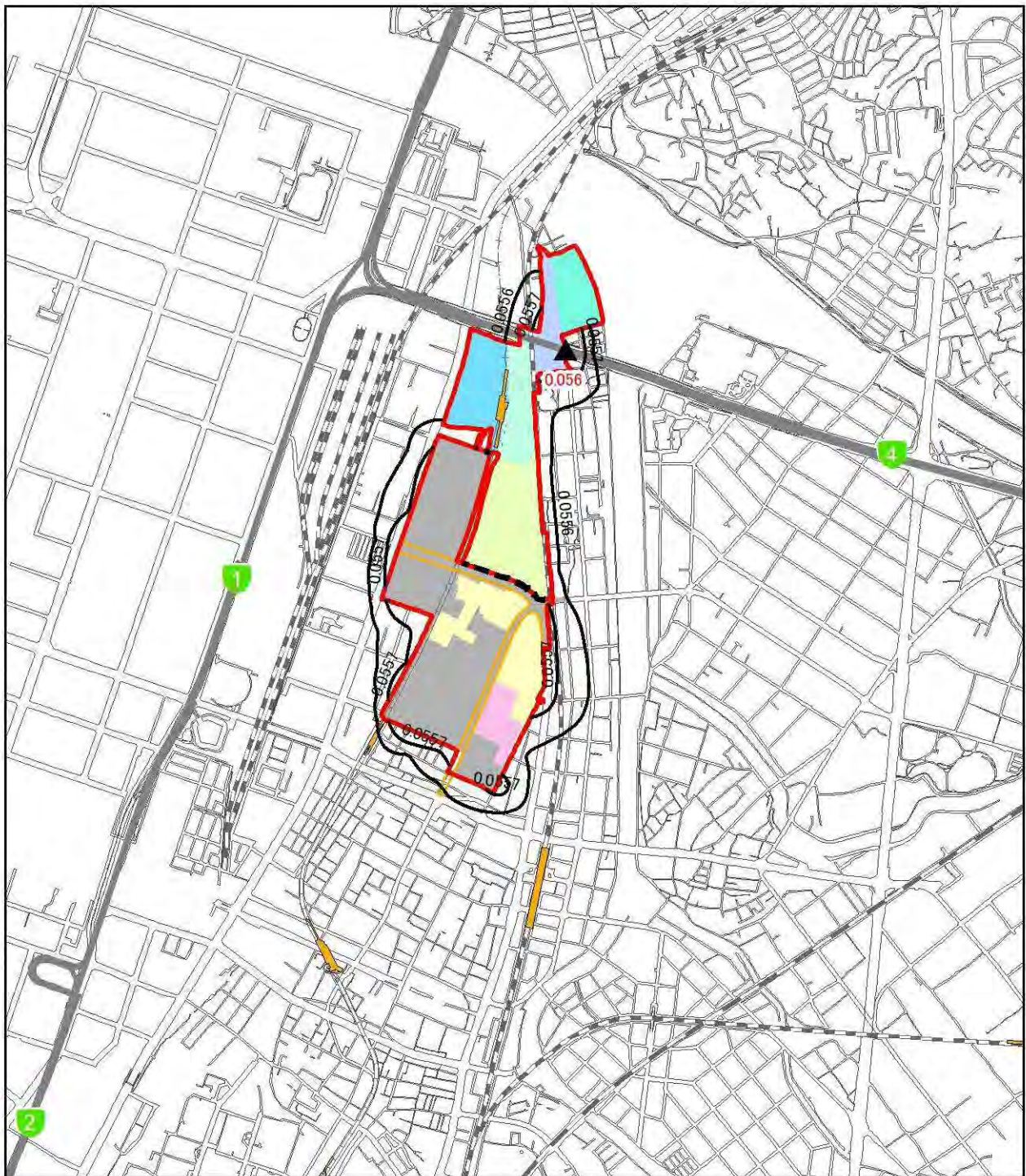
- 施工区域
- 2020年度
 - その他、北1~3工区、南1~3工区で関連事業実施中。



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 2020年度浮遊粒子状物質濃度 (日平均値の年間2%除外値: mg/m³)

環境基準は、日平均値が0.10mg/m³以下

図 8.1-26 (19) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果 (日平均値の年間2%除外値)(2020年度 環境保全措置実施前)

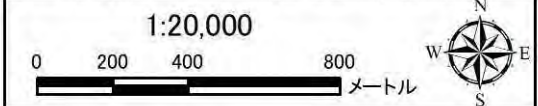


凡 例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

- 工区割り**
- 北1工区
 - 北2工区
 - 北3工区
 - 北4工区
 - 北5工区
 - 南3工区
 - 近代建築物活用ゾーン

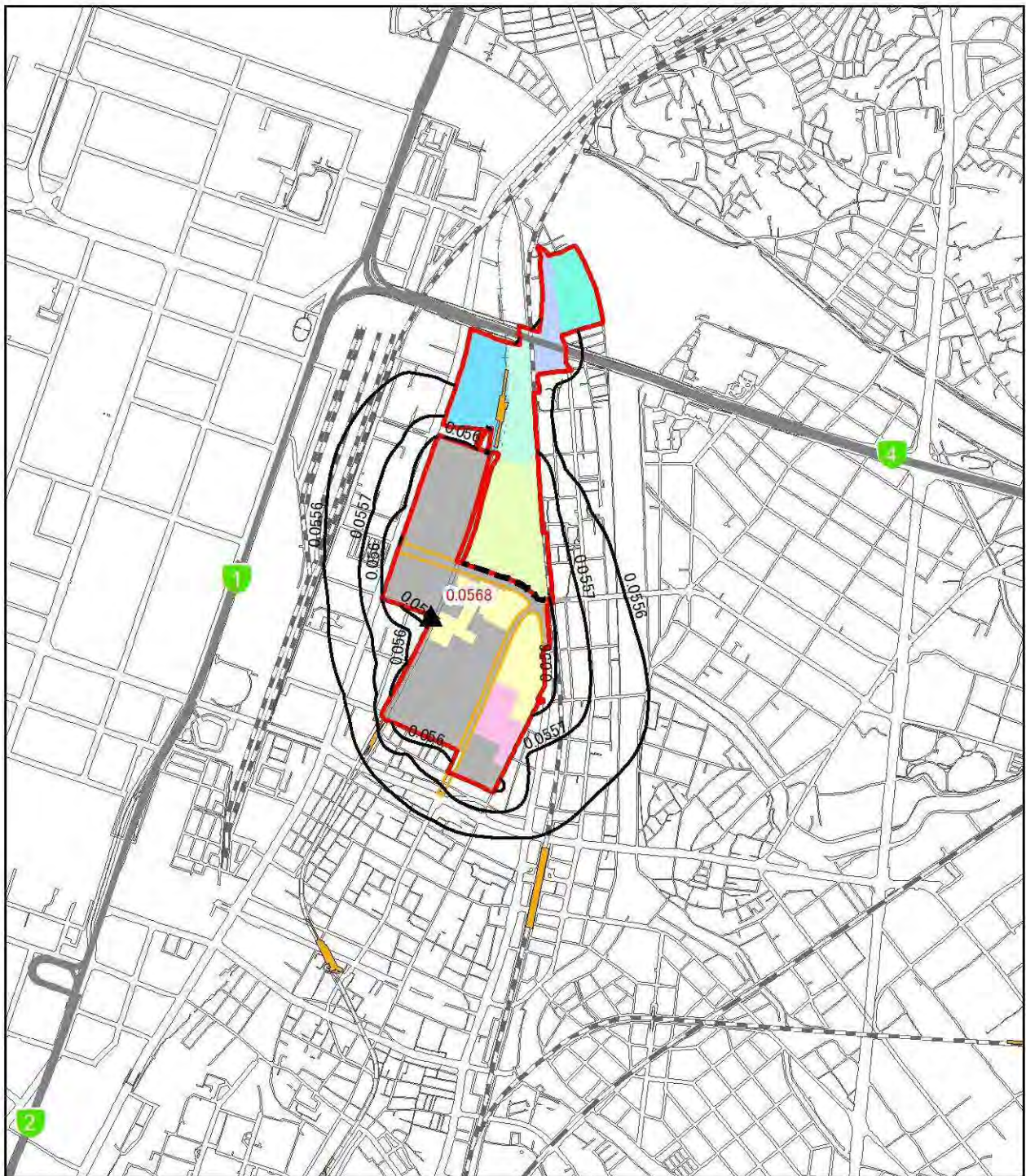
- 施工区域**
- 2020年度
 - その他、北1~3工区、南1~3工区で関連事業実施中。



▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
 — 2020年度浮遊粒子状物質濃度
 (日平均値の年間2%除外値: mg/m³)

環境基準は、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下

図 8.1-26 (20) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果
 (日平均値の年間2%除外値)(2020年度 環境保全措置実施後)

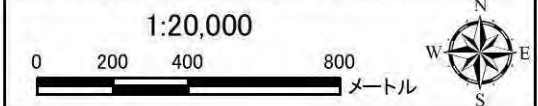


凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

- 工区割り
- 北1工区
 - 北2工区
 - 北3工区
 - 北4工区
 - 北5工区
 - 南3工区
 - 近代建築物活用ゾーン

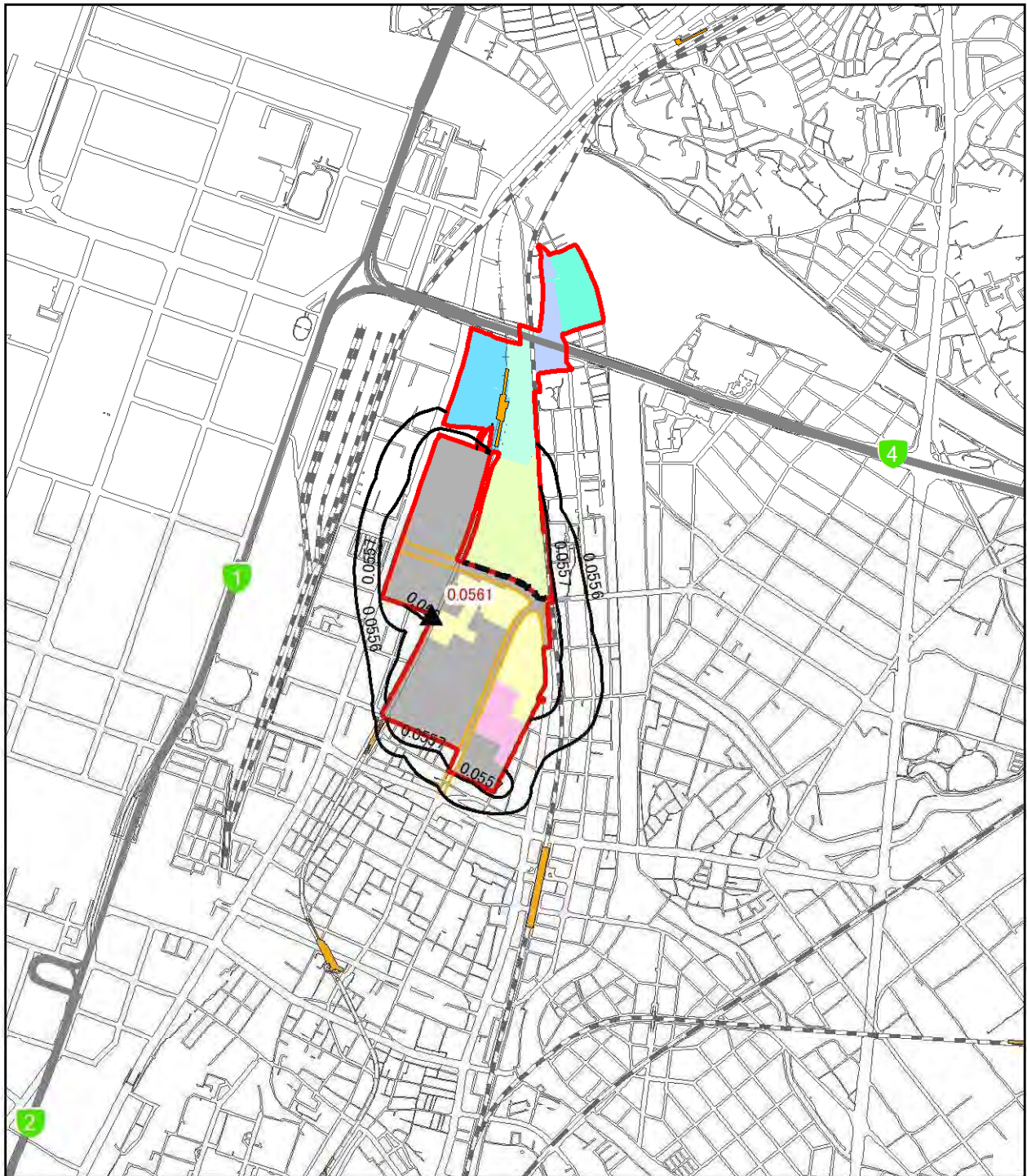
- 施工区域
- 2021年度
 - その他、北1~3工区、南1~3工区で関連事業実施中。



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 2021年度浮遊粒子状物質濃度 (日平均値の年間2%除外値: mg/m³)

環境基準は、日平均値が0.10mg/m³以下

図 8.1-26 (21) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果 (日平均値の年間2%除外値)(2021年度 環境保全措置実施前)



凡例

- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路(関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北1工区
- 北2工区
- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 南3工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

- 2021年度
- その他、北1~3工区、南1~3工区で関連事業実施中。

1:20,000

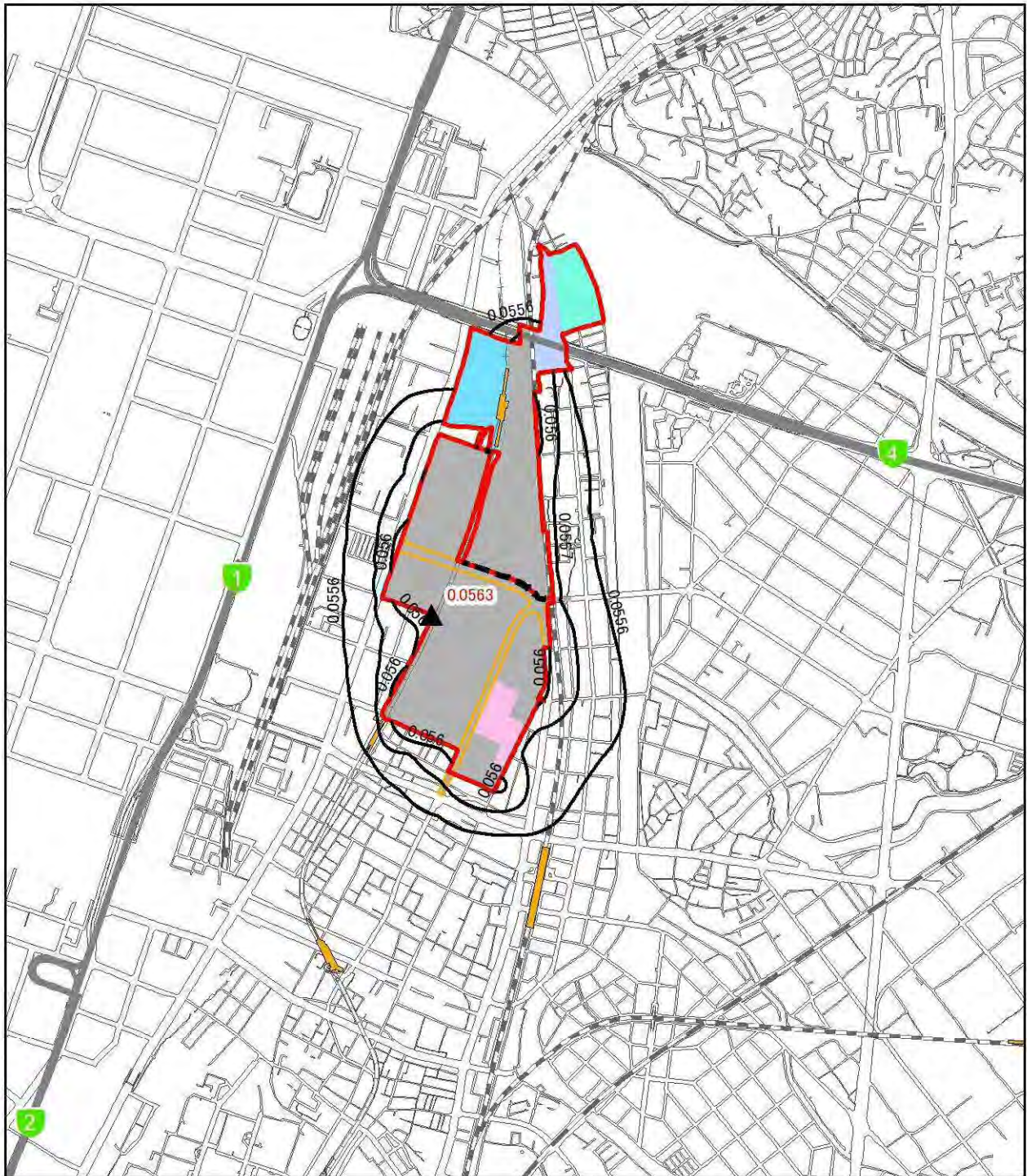
0 200 400 800メートル



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 2021年度浮遊粒子状物質濃度 (日平均値の年間2%除外値: mg/m³)

環境基準は、日平均値が0.10mg/m³以下

図 8.1-26 (22) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果 (日平均値の年間2%除外値)(2021年度 環境保全措置実施後)



凡 例

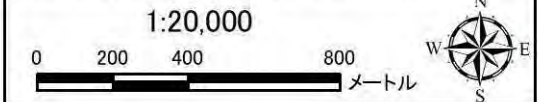
- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路 (関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

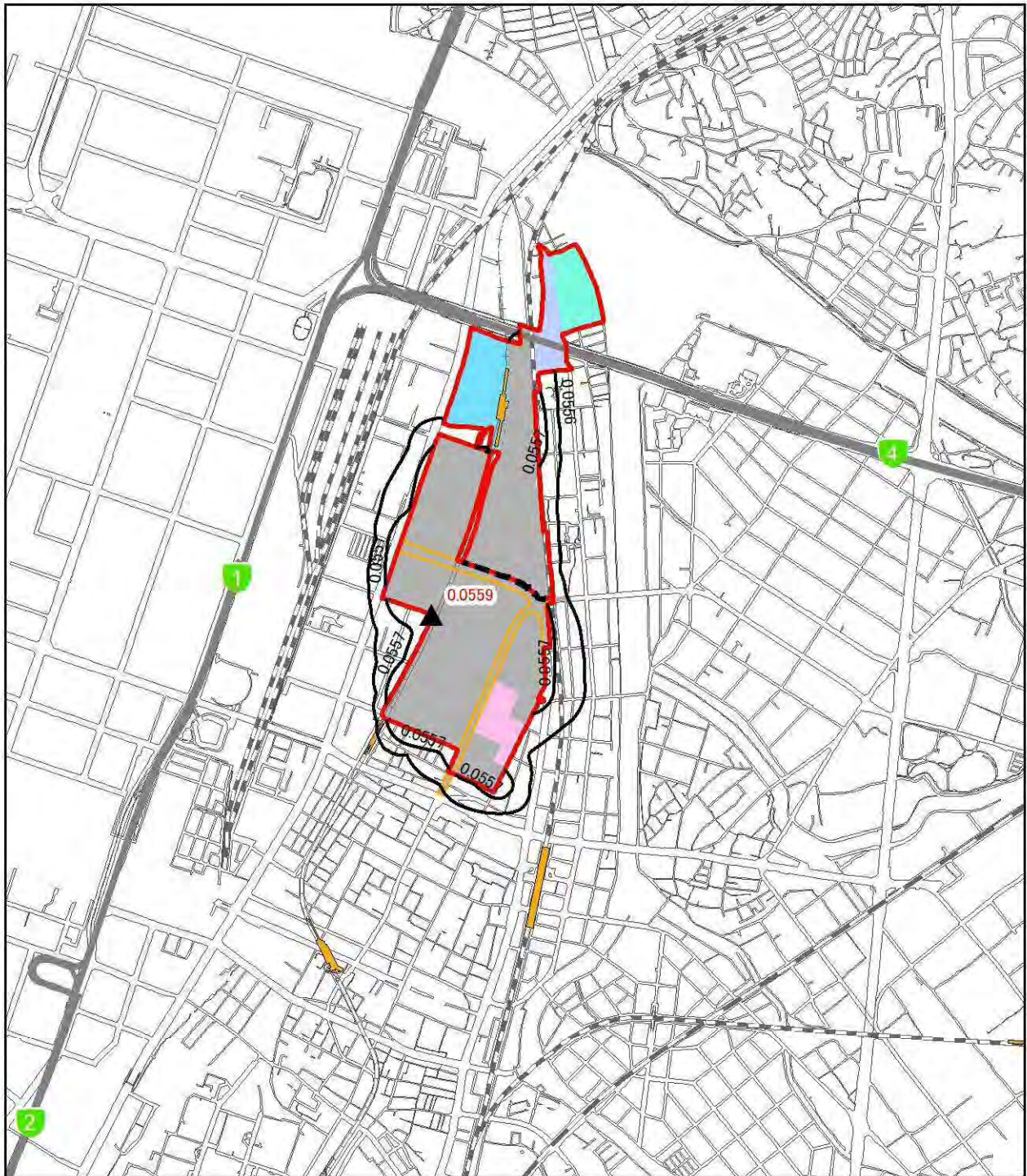
- 2022 年度
- その他
- 南 1~3 工区で
関連事業実施中。



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 2022 年度浮遊粒子状物質濃度
(日平均値の年間 2%除外値: mg/m³)

環境基準は、日平均値が 0.10mg/m³ 以下

図 8.1-26 (23) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質の予測結果
(日平均値の年間 2%除外値) (2022 年度 環境保全措置実施前)



凡 例

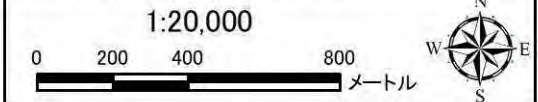
- 事業実施区域
- 北エリア・南エリア境界
- 福岡都市高速
- 都市計画道路 (関連事業)
- 駅
- JR
- 新幹線
- 私鉄
- 地下鉄

工区割り

- 北3工区
- 北4工区
- 北5工区
- 近代建築物活用ゾーン

施工区域

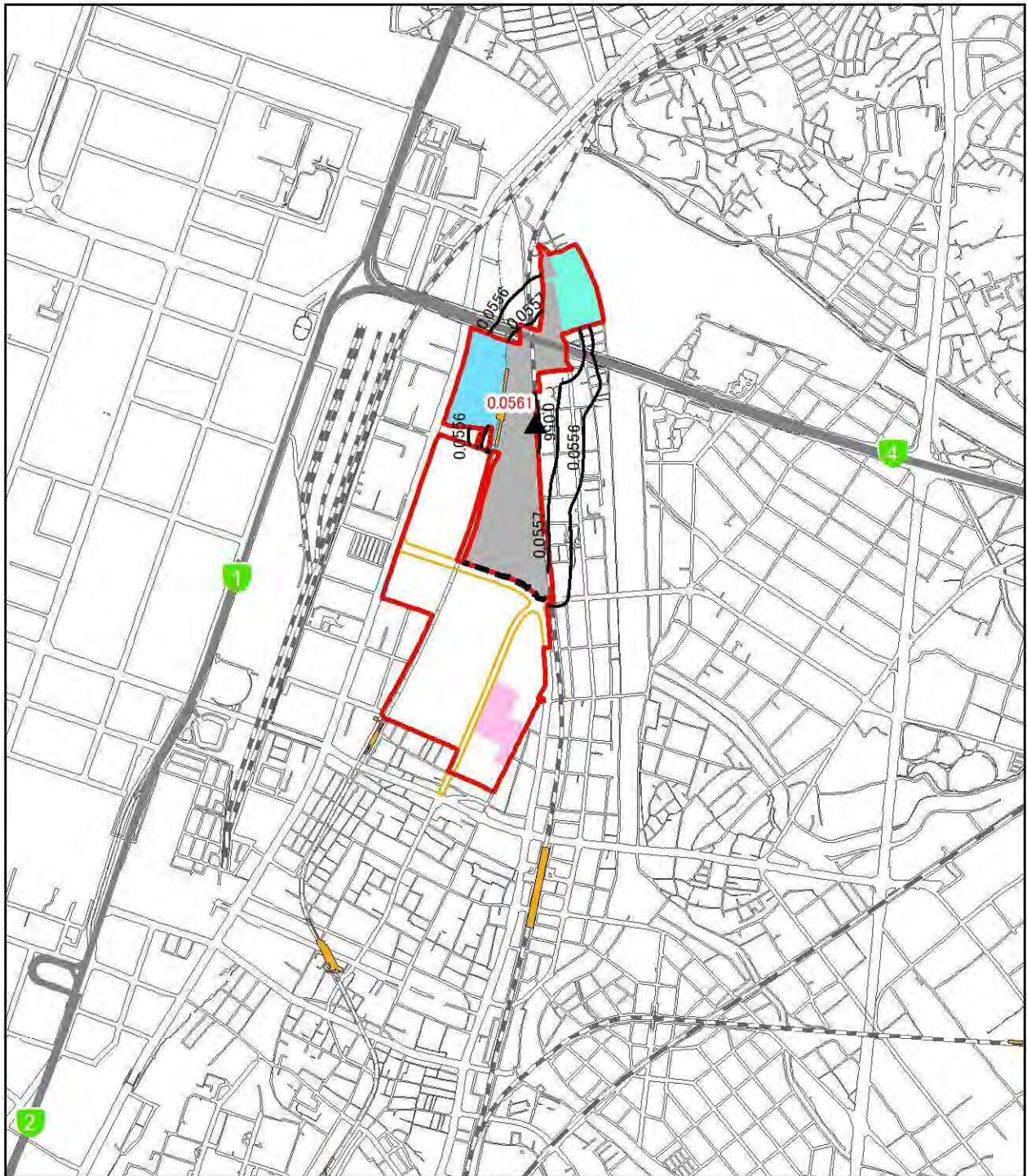
- 2022年度
- その他
- 南1~3工区で
関連事業実施中。



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 2022年度浮遊粒子状物質濃度
(日平均値の年間2%除外値: mg/m³)

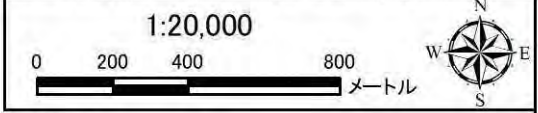
環境基準は、日平均値が0.10mg/m³以下

図 8.1-26 (24) 工事の実施 (造成工事の実施) による浮遊粒子状物質の予測結果
(日平均値の年間2%除外値) (2022年度 環境保全措置実施後)



凡例

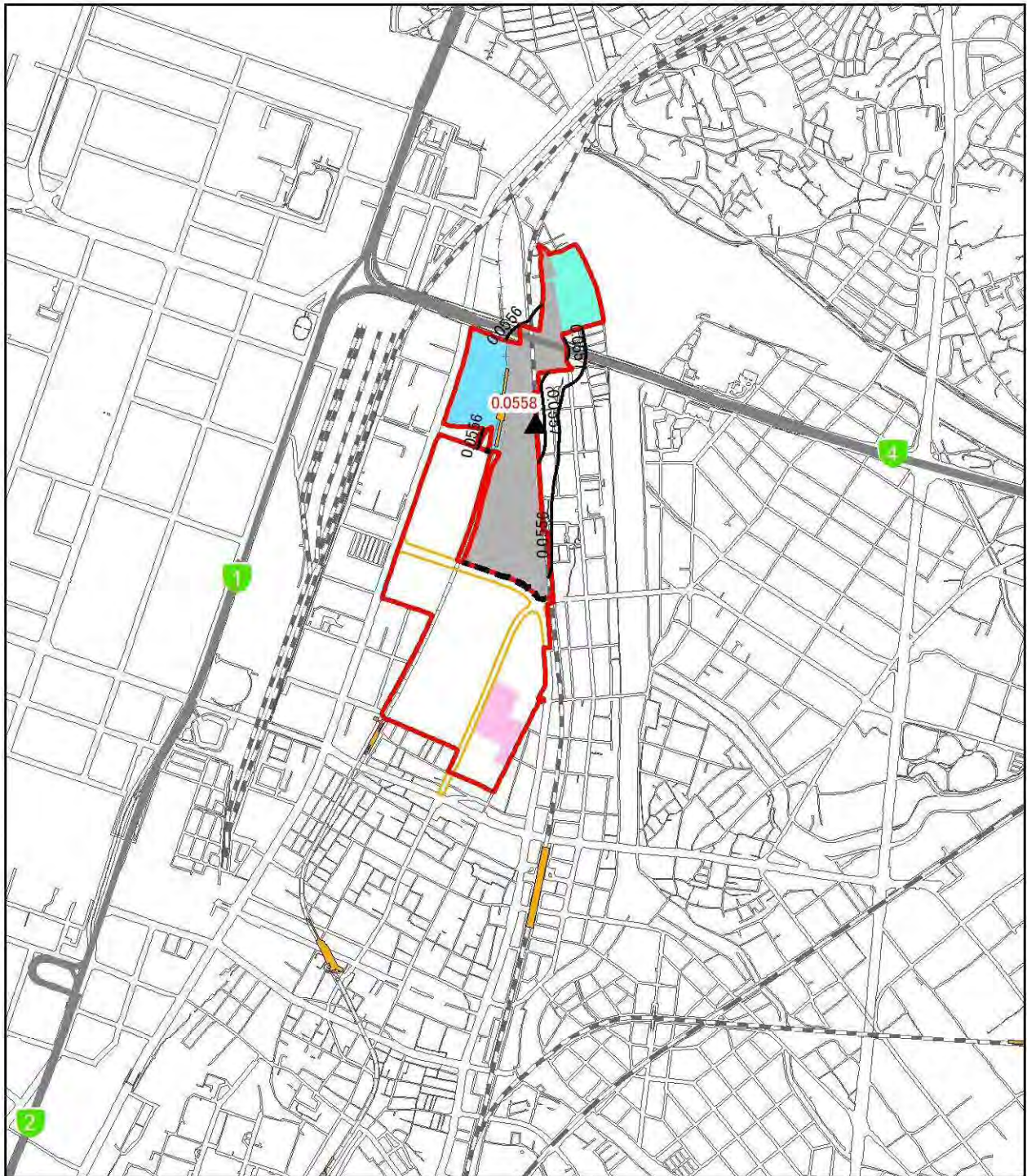
- | | |
|--|---|
| 事業実施区域 | 工区割り |
| 北エリア・南エリア境界 | 北4工区 |
| 福岡都市高速 | 北5工区 |
| 都市計画道路(関連事業)施工区域 | 近代建築物活用ゾーン |
| 駅 | 2023年度 |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



- ▲ 最大着地濃度地点 (赤数字: 濃度)
- 2023年度浮遊粒子状物質濃度 (日平均値の年間2%除外値: mg/m³)

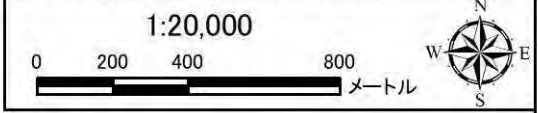
環境基準は、日平均値が0.10mg/m³以下

図 8.1-26 (25) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果 (日平均値の年間2%除外値) (2023年度 環境保全措置実施前)



凡例

- | | |
|------------------|------------|
| 事業実施区域 | 北4工区 |
| 北エリア・南エリア境界 | 北5工区 |
| 福岡都市高速 | 近代建築物活用ゾーン |
| 都市計画道路(関連事業)施工区域 | 2023年度 |
| 駅 | |
| JR | |
| 新幹線 | |
| 私鉄 | |
| 地下鉄 | |



- 最大着地濃度地点(赤数字:濃度)
- 2023年度浮遊粒子状物質濃度(日平均値の年間2%除外値:mg/m³)

環境基準は、日平均値が $0.10\text{mg}/\text{m}^3$ 以下

図 8.1-26 (26) 工事の実施(造成工事の実施)による浮遊粒子状物質の予測結果
(日平均値の年間2%除外値)(2023年度 環境保全措置実施後)